

# みんなのギョウリ

市民の皆さんの投稿コーナーです。  
 誌面の都合で、掲載できないことがあります。  
 締め切りは、前月10日です。

投稿・問い合わせ  
 福津市中央公民館  
 ☎43・2100  
 FAX 43・2868



福津市市制10周年記念式典に参加

福間東支部 鈴木 郷恵  
 平成17年1月24日に福間町と津屋崎町の合併により、福津市が発足して10周年を迎えた同日、記念式典が市中央公民館で行われました。

「二つの町の融和を図り、福津市を作りあげた市民の皆さんの努力に感謝します」と市長のあいさつがあり、同じ合併した年に生まれた10歳になる市内の小学4年生24人が「日市長」として参加し、10年後、二十歳の自分に宛てた手紙や未来に残したい福津の遺産などを会場の皆さんに説明していました。

「未来へつなごう私たちの宝」として、「新原・奴山古墳群」の大切な自然遺産を守り、新鮮な農産物をはじめ、海も山もあり、自然に恵まれている福津市として発展してほしいと思いました。

## 「北方領土問題」

花見支部 松川 洋子  
 去る、1月23日福岡市天神に於いて「北方領土返還促進」の街頭キャンペーンが行われました。

北方領土は北海道、根室半島の沖合いにあり、現在ロシア連邦が実効支配している、択捉、国後、色丹、歯舞諸島の島々を指し、日本が返還を求めている領土問題です。長い歴史の中での未だ解決できない条約や考え方の相違で進んでいません。

福津市地域婦人会も、このキャンペーンの趣旨を受け止め微力ながら、お手伝いさせていただきました。

道行く多くのかたがたに、訴えかけ、また、反対に「頑張ってくださいね！早く日本に還ると良いですね」の言葉をいただき、励まされました。

問い合わせ 井手和子 ☎42・2524

## 【川柳「虹の会」】

ふうせんもともだちどうしあそんでる  
 六歳 藤本 ころこ  
 おお神よいタイミンク見のがした  
 小一 安西 夏海  
 テストのね点数悪く今やばい  
 中一 安西 七海  
 姿見に和服もいいな喜寿の春  
 村山 明美  
 旅先で亡夫の好きな地酒買う  
 百武 海子  
 賽銭に見合わぬ願ひあれやこれ  
 下釜 京子  
 菓立つ子等名残り惜しげに見る桜  
 久保山裕昭  
 霊園のCMソング気にしたす  
 空谷 弘道  
 自分史にひとすじ消せぬいくさ傷  
 長井すみ子  
 一通で返事が来るといふ手品  
 水谷そう美  
 雪像の見事な列が目を奪う  
 安井 秀子  
 病床の母に届けと電話する  
 林田恵津子  
 箱根路にカラフルシューズ競う初春  
 中山 さえ  
 瞬きの刻を惜しんで椿落つ  
 榎根 わ子  
 順を待つ日本の美しいけれど  
 河内やすこ  
 友想うわびすけの花雨に濡れ  
 奥 節子  
 止まらない流れの中で枯れ急ぐ  
 東 浩子  
 ちぎり絵の羊わが世とすまし顔  
 松井 貞子  
 ほおずきの袋の中にいるわたし  
 柳田 涼子

## 【海】

喜寿迎え感謝感謝の初詣  
 凡 天  
 二日は寄せ鍋になり帰りけり  
 つるみつお  
 向きあつて雑煮の椀のぬくもりに  
 前田フヂエ  
 テレビつけ掃除お料理大晦日  
 小林 淑子  
 今「えびの」弾む声きく冬ざれの日  
 田中 照子  
 目をつむる皺の深さの初鏡  
 岡部ヤエ子  
 叱られて泣くやあやされ初笑い  
 原田 令子

## 【津屋崎俳句会】

梅の香や彼の日に還る太鼓橋  
 藤山 圭子  
 家々に菜の花いろの燈火さす  
 松尾 忠義  
 素つ氣無く懐妊告げる春隣  
 室元松希典  
 自轉する地球へころがる寒の水  
 鈴木 敦子  
 冬の宙吊橋を猿渡る  
 熊本 えみ  
 少し病むことも人生神無月  
 熊本 隼

## 俳句【太郎丸俳句会】

週末を奏で換気す小春風  
 木下 正治  
 親鳥に抱かれるごとく寒牡丹  
 江頭 憲次  
 風邪の子とあや取りをする一日かな  
 坂上 俊恵  
 丸く拭く車窓に冬の日本海  
 高見 英夫  
 耳の無きゴツホの自画像寒に入る  
 山田 章  
 しのこしはあれど区切りのみそか蕎麦  
 吉田 照子  
 光り合うものを友とし冬の川  
 薄 美津子  
 冬霧や汽笛の刺さる瀬戸の島  
 坂井 八郎  
 托鉢の僧も来てをる梅一輪  
 西岡美津子  
 冬枯の葎原縫つて筑後川  
 真子 敬明  
 この道はいつか来た道凍て返る  
 松崎 佐  
 一年の重さ軽さや初暦  
 千々和洋子  
 飼猫も野良になりたき日向ぼこ  
 廣渡 久和  
 大根の光る白さに洗ひけり  
 廣渡 絹代  
 大家族ありし日思ふ七草粥  
 石田フサ子  
 ケーキ屋のはなやぐ冬の平和かな  
 薄 多佳子

## 短歌【わたつみ短歌会詠草】

帰り来てあかりをともしマフラーを  
 はずせばぬるぬる空気動く  
 山形 四郎  
 わたつみの忘年会は下戸多く  
 食べるだけ食べ早や終りたり  
 北富れい子  
 古語辞典・広辞苑など繰りながら  
 堅き頭をしばしたがやす  
 島崎 渚  
 健が往く文太も往きて生きざまの  
 伝説となる昭和の遠のく  
 銭花 治代  
 寒菊の時雨れて臘脂の色冴えて  
 仏花にするのを少しためらう  
 富田 浮風  
 この年は柿の一顆もつかざりき  
 葉ばかりしげり葉の袋づめ  
 野辺フクヨ

## 【一般投稿】短歌

なす事もなき日々なれど日曜日は  
 老いたる今も心なごみぬ  
 浜崎 敏江  
 血の交う妖怪ありや肩を組む  
 登枝の道子等は温もる  
 方木 修一  
 孫くれし初ボーナスは使えじと  
 額に飾りて夫婦楽しむ  
 坂口 怜子  
 酷寒の異国の街に加療する  
 只々感謝人の親切  
 坂口 俊  
 そのかみに藤原定家詣でしとふ  
 熊野古道の修験道ゆく  
 宗像 治子  
 また今年親しき友の文絶えて  
 思いめぐらすさよならの文  
 宙 燃  
 ヒトツバタゴの冬芽は白き刺の  
 むらがるごとく光を反す  
 野間 精一

## 【一般投稿】俳句・川柳

祈りたる春むなしきイスラムの地  
 立春やイスラムのこと言葉なし  
 御幸 静恵

手にとれば消ゆるともなき春の雪  
 桶凍り満月映す日ノ丸旗  
 菅田 隆一

冬牡丹葉の衣で春を待つ  
 枯れ落ち葉おびただしきを掃き終えて  
 徳永タミ子  
 着ぶくれで円くなりたや心まで  
 冬鴨白波背に受け見え隠れ  
 古賀新太郎  
 寒椿空が明るくなつてきた  
 風が鳴るオリオンの盾春を待つ  
 佐々木冴子  
 冬牡丹傘に囲まれ気品あり  
 寒梅の膨らむ蕾春を待つ  
 中島 久次  
 賄はしみとみ美味し選拳戦  
 町内会年々杵は重くなり  
 本間 碧水  
 朝日さす山菜葉の黄は溢れをる  
 吾がつまに今吐露のとき多謝感謝  
 松本 連蔵  
 人知れず綻びを縫う返り花  
 悲喜こもごも就活と終活同居  
 中原 恵子

## 囲碁・将棋大会 結果

### 市実年囲碁会1月例会

今回は、3月3日(第1火曜日)、3月17日(第3火曜日)午前10時受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	今丸 眞	宮崎 良一	佐藤 弘
2	猪俣 征雄	東 治夫	今泉 武志
3	満生 忠雄	中嶋 孚	山口 忠男
4	加村 光義	永島 和彦	石井 隆夫
5	須貝 健一	堺屋 光男	東 輝雄
6	中嶋 一	高木 正信	三宅 三郎
7	中村 清	西岡 幸治	灘邊 英雄
8	能美 一丸	西住 弘久	桜井 二郎
9	森山 英明	相部 清人	武田 隆幸
10	内田 義徳	柳田 正尚	立和田 賽
11	坂井 衛	山本 正三	江頭 巖

連 満生 忠雄 ☎43・2420

### 福津市将棋同好会1月例会

	1位	2位	3位
A	滝口 純一	北原 秀誠	川端 政憲
B	佐藤幸四郎	実崎 雄太	工藤 幸夫
C	松原 恒二	佐野 五郎	諫山 嘉刀
D	安松 辰男	川上四男美	椎名 淳
E	木道 健一	赤星 文雄	高田 治夫
F	吉田 弘	鶴田 邦雄	仲村 輝美

連 吉村 友行 ☎43・1308

### 福津市囲碁会1月例会

今回は、3月8日(第2日曜日)午前10時00分受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	今丸 眞㊟	大野 政嗣㊟	宮崎 良一㊟
2	執行 清春㊟	佐藤 弘㊟	福田 豊㊟
3	太田 隆精㊟	荻野 力㊟	井本 雅文㊟
4	満生 忠雄㊟	松本 正美㊟	藤井 修㊟
5	堺谷 光男㊟	林田 健介㊟	森北 新吉㊟
6	吉田 幸博㊟	柳川 満㊟	廣瀬 博喜㊟
7	松尾 正久㊟	中嶋 一㊟	高島 正憲㊟
8	山本 正三㊟	大塚 俊一㊟	竹山 晃㊟

連 井本 雅文 ☎42・0566 三原 敏男 ☎42・3916  
 ㊟は二段、㊟は2級

### 津屋崎囲碁同好会1月例会

今回は、3月22日(日)午前10時から文化会館で開催します。

	1位	2位	3位
A	今丸 眞㊟	執行 清春㊟	中嶋 孚㊟
B	井本 雅文㊟	伊藤 重信㊟	藤井 修㊟
C	柳川 満㊟	宮川 義信㊟	松尾 正久㊟
D	西住 弘久㊟	堺 高之㊟	城野 正雄㊟
E	坂井 衛㊟	竹山 晃㊟	春藤 哲央㊟

連 永島 和美 ☎52・5610 ㊟は二段、㊟は2級